



「新年のごあいさつ」

慈光照護のもと、門信徒のみなさまには心静かに新年を迎えられたことと思います。私はいつもとちよつとちがった新年を迎えております(汗)。何事も経験です。昨年もまあさまざまな出来事がありました。いやきつとみなさまもそうなのでしよう。なにごともない一年なんてきつとないのだと思います。すつたもんだの人生だからこそ面白く、どうにもならない凡夫だからこそ、阿弥陀さまはいつでもどこでも願ひ続けてくださっているのだと思います。

おかげさまで、昨年は前住職の三回忌と、前坊守の三十三回忌をお勤めすることができました。気が早いですが次の七回忌(2020年8月)にはなんと前々住職の五十回忌(2021年1月)と一緒に勤めることになりそうです。五十回忌となると、よそのお寺の法要をみても、何かの法要と併修ではなく単独で行っておられます。西光寺としてもあまり暑くない時期(5月くらい?)にお勤



めできたならなあと思います。なにせ東京オリンピックの年になりますからね!また役員のみなさまともご相談させていただきます。その節は多くのご門徒さまにもぜひご協力いただきたく存じます。どうぞよろしくお祈りいたします。

「本願寺の御正忌報恩講」

報恩講は、ご存知我らが開山親鸞聖人のご恩に報いる、浄土真宗でもっとも大切な法要です。みなさまのお家でも、西光寺でもお勤めしていることですが、もちろん本願寺でも今月九日から十六日までの一七ヶ日勤められます。親鸞聖人のご命日は旧暦で十一

月二十八日なのですが、西本願寺では新暦に直して一月十六日をご命日と定めていきます。特に十五日の夜は通夜布教といって、13人の布教使が朝までリレーでお説教をします。もの凄くたくさんの方が思い思いの格好で(寝ている人もいます)お聴聞されます。ぜひぜひお参りください。通夜布教が終わって16日のお晨朝には、一年に一回しかお勤めされない正信偈の『真譜』(みなさまのお家の報恩講でお勤めする『行譜』の後半部分のメロデイのある部分のような節が最初からつきます。ですからとつても時間がかかります)が勤まります。まだ暗い中、冷えきった御影堂で息が白くなる中での正信偈真譜はなんともいえない感動に包まれます。そして満堂のみなさんの熱気で、あの広い御影堂が少しづつ暖かくなっていきます。こればかりはお参りしないとわかりません。どうですか?一度お参りして本願寺の御正忌報恩講を体験してみては?

「御正忌が厳修されました」

先月二十三日に当院の御正忌法要をお勤めさせていただきました。今年も写真を撮るのを忘れてしまいました。お昼には加藤悦子様、田賀卓司様、高田久美子様、新田登志子様、山内節子様、山内和子様、柚木こと美様、米田幸子様、夜には桜井照視様、米田幸子様にお参りいただき、誠に有り難うございました。今年の善哉ぜんさいはわりと美味しくできましたんじゃないかなと思います。

「前任職の納骨に行きました」

以前より、前任職のお骨を京都の大谷本廟おおたにほんびょうへ納骨しなければ……と思うだけで、ちつとも行けなかつたのですが、タマも亡くなって十一月二十五日に坊守と妹を連れてようやく行くことができました。祖母の納骨に行つて以来なので三十数年ぶりでした。住職のくせにお恥ずかしいことですが初心者丸出しでキョロキョロウロウロ。

浄土真宗のご法義をいただく私たちは、宗祖親鸞聖人のおそばにお骨を納めさせていただきたいものです。わからないことがあれば住職までお問い合わせください。久しぶりに大谷本廟にお参りさせていただき、とても有り難い1日でした。

昨年そだんの4月から、大谷本廟での相壇納骨懇志が改定（改定といえは聞こえがいいです

が、有り体に言えば値上げです）されて3万円以上になりました。前任職には院号も下付されたので、内嶋家として20万円の懇志をしました。そのときに、3万円以外の17万円分を例の宗門総合振興計画推進懇志扱いとして納めましたので、西光寺割り当て分の78万5850円から内嶋家が納めた17万円を引いた61万5850円をお寺の貯金から年末に振り込ませていただきました。お寺のために蓄えてあった大切な貯金をくずさせていただきますましたこと、申し訳ないことですがどうかご理解くださいますようお願いいたします。



大谷本廟での坊守と妹

「年賀状について」

今年もみなさまから年賀状をいただき有り難うございます。昨年より寺からの年賀状は失礼させていただいております。どうかご理解いただければ幸いです。

「正信偈のCDをどうぞ」

何年前かに、お年始のおしるしとして、仏説阿弥陀經のCDをお分けしたことがありました。何人かのご門徒さまから好評をいただいで、次は正信偈だと思っていながらいぶん時間が経ってしまいました。今回も私のガラガラ声で恐縮ですが、西光寺本堂でのライブ録音です（編集はしています）。解説も朗読していますので、ぜひお時間のあるときに聴いてみてください。ご親戚・遠くのご家族にも聴かせたいというご希望があればご連絡ください。すぐに送ります。寺報も遠くのご家族にも送りますよ。ではでは、三月には彼岸会を厳修します。よろしくどうぞ。また、今回の寺報にはもう一部、ご門徒さまのお店・経営する会社のPR号をおつけしました。西光寺のご門徒の輪・お念仏の輪がますます広がりますよう念じ上げます。

合掌

住職携帯 090-8697-7602

メール soichiro4989@gmail.com